

エンターテインメントが

人の心を動かす瞬間、

その現場に

立ち続けたい。

株式会社M100
代表取締役

根本 杏香さん

愛知淑徳高等学校を2002年3月卒業。同志社大学文学部社会学科新聞学専攻(現・社会学部メディア学科)を卒業後、関西テレビ放送株式会社に入社して報道、イベント企画・プロデュース、宣伝などに従事。2022年に独立し、2023年に株式会社M100を設立。

ワクワクする気持ちが、 自分の道を拓く原動力。

アーティストやスケートショーのPRプランナーなど、エンターテインメントの多様な仕事に携わる現在、「まず私自身がワクワクすることを何より大切にしています。出演者・制作班と観客の皆さんの間に立ち、一緒に心を動かしながら双方の思いをつないで、作品の魅力をより多くの方に伝えようと力を尽くしています。そんな今の自分に通じるのが、愛知淑徳生だった頃の自分。毎日ワクワクして、何事にも全力でした。

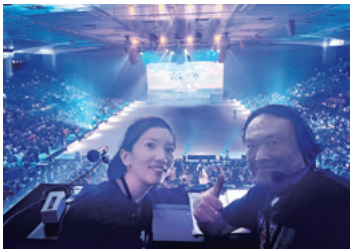
愛知淑徳での6年間を振り返ると、球技大会・学園祭・合唱コンクール、マラソン大会など、シーズンごとの学校行事に向かふととにかく一生懸命。特に思い出深いのが、高校の学園祭です。展示部門のクラス代表、実行委員、そして高3のときには委員長も務め、展示のことはかりを考えた3年間でした。各クラスがテーマや制作物の内容、役割分担を決めて、材料を集めて組み上げ、クラス展示として完成させる…その過程は一筋縄ではいきません。個性豊かな生徒が集まる愛知淑徳

で、一人ひとりの強みをいかに発揮させてチームとして目標に向かうか。試行錯誤の連続だったからこそ、イベント企画やプロジェクトマネジメントの力が自然と養われたと感じます。同時に、いろいろな人と力を合わせてイベントをつくり上げることの楽しさや喜びも実感。そのときのワクワクする気持ちが、テレビやエンターテインメントの仕事に就きたいという夢をふくらませていきました。

エンターテインメントの現場で 多様な人と互いに高め合う。

大学卒業後、関西テレビ放送株式会社へ。報道部で6年、事業部で7年、宣伝部で2年とキャリアを積み重ねました。業務内容は多岐にわたりましたが、共通していたのは「様々な人に話を聞き、わかりやすくまとめて発信する」ということ。中学生の頃、愛知淑徳の先生が「あなたには国語の力があるよ」といって特別な課題を出して鍛えてくださった「言葉の力」が、今、働く上で大きな底力になっています。

2023年8月・9月に開催された「ワンピース・オン・アイス」の広報を担当。幕が下りた後の観客の皆さんの笑顔と拍手が私の大きなパワーです。



高2の学園祭の後夜祭（前列右から2番目が根本さん）。展示実行委員会のメンバーとステージに立ちました。



ニュース制作、テレビ番組の宣伝、世界的なサーカス・エンターテインメント大阪公演PR、音楽ライブのプロデュースなど、それぞれの現場では多様な分野のプロフェッショナルと対話し、刺激を受けながら、一つひとつの仕事の思いきり楽しめました。そうした日々の中で強まっていったのは「もっというんな人と出会いたい！もっと広い世界が見たい！」という思いです。より幅広い仕事をしようと考え、フリーランスになることを決意しました。これからも自分の可能性を広げて、ワクワクするエンターテインメントを世の中に届けたいと思います。

愛知淑徳で学ぶ後輩の皆さんも、「きつとダメだつと」と決めつけて選択肢を狭めず、やりたいことがあるなら一歩を踏み出してください。背中を押してくれる先生方や一緒に頑張る仲間がそばにいます。失敗も学びのチャンスだと思つて、淑徳魂で臆せず挑戦してみてください。